トキが暮らす豊かな里山を次世代に！

ートキと共生する未来への挑戦者を求めますー

トキ交流会館

環境整備活動（草刈り）

ビオトープで餌をとるトキたち

天王川自然再生エリア

生椿の棚田

ボランティア活動（生椿）

ミ ッ シ ョ ン：　トキとの共生を未来につなぐ

着　任　地　域：　佐渡市新穂潟上１１０１－１　トキ交流会館

板垣徹（左）と高野毅（右）

これまで佐渡の人びとは、一度野生絶滅したトキが再び生息できる環境を整備してきました。それは自然との共生を大切にしてきた人々の営みを現代によみがえらせる試みでもあります。この活動を次世代につないでいくことが、私たちのミッションです。

旧新穂村の桃源郷・生椿（はえつばき）地区は、かつて野生絶滅する前の日本のトキが最後にエサ場とした場所として“トキの聖地”と言われています。今は住民が一人もいなくなりましたが、最後の住民だった高野毅(写真右)はふもとの集落から通って黙々と里山の環境を維持してきました。

新穂潟上地区を流れる天王川では、新潟県が行っている川の自然再生事業を軸として、「トキの水辺づくり協議会」（会長・板垣徹≪写真左≫）が周辺の一帯をトキの生息場所として整備しています。

トキ交流会館はトキ野生復帰の拠点施設として旧新穂村が整備し、佐渡市の施設として活用されてきました。現在は合同会社トキの会（代表・板垣徹）が指定管理者として運営しています。宿泊施設と会場レンタルが主な業務ですがトキにかかわる諸団体の活動拠点となっており、今後の方向としては、トキとの共生をテーマとしたビジターセンターとしての役割を担うことを目標としています。トキと共生する里山を訪れる人々の、にぎやかな交流の場となることをめざしています。

○世話人

板垣徹（トキ交流会館管理者)、高野毅（生椿の自然を守る会)、仲川純子（トキの水辺づくり協議会)、本間穂積（合同会社トキの会)、北亮（地域おこし協力隊 OB)、小森美紗（地域おこし協力隊 OG）が 3 年間お世話します。

○解決したい課題とミッション

現在、トキは佐渡島内に 500 羽以上生息し野生復帰は順調に進んできました。一方でトキのための活動を続けてきた人たちの高齢化が進んでおり、また、トキとの共生を継続するための次なる目標の明確化が求められています。そのため、次世代につないでいくべき活動の整理とその継承が差し迫った課題となっています。

具体的な活動としては、

・生椿地域の保全と活用を、多くの人々の協力を得ながら進める

・自然再生事業を行っている天王川流域の環境整備活動を関係団体とともに進める

・トキとの共生をめざす上で、トキ交流会館の効果的な運用と活用方法を考え実践する

といったテーマに、一緒になって取り組みます。

そうした具体的な取り組みの中で、トキと共生する未来への新たなステップを共に模索していきます。

○３年後のめざす姿

協力隊員：佐渡で安心して暮らせる仕事や環境がある状態
エコツアーのガイドができて副業収入となっている
自然環境やトキに関わる仕事に就いている

地　　域：トキに関わる保全と活用のサイクルが回せる状態
トキ交流会館がトキのビジターセンターとして活用されている
天王川自然再生エリアの環境が維持されてトキが常に餌をとっている
生椿の環境と景観が守られ、人々が訪れている

○こんな人を求めています

身体を動かす活動が好きな方
地域活動に積極的に参加できる方
ＳＮＳ発信が得意な方
トキが好きな方
山歩きや山の幸が好きな方
田んぼ仕事をやってみたい方